

教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) あけぼの認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団の中で自分の思いが受け入れられない時や、友だちと協力して活動することよりも自分のしたいことを優先する時に、活動への参加に積極的になれない姿があるので、協力すること、相手を受け入れることの楽しさを伝えていく。</li> <li>・ 遊びの中で自分の気持ちを優先し、手が出たりケンカになる事があるので、落ち着いて友だちの意見も聞けるように、保育者が仲立ちとなり子どもたちの話をゆっくり聞き、お互い思いを共有し納得するようになり、手が出てしまうときには言葉で思いを伝えられるようになりしている。</li> <li>・ 自分の思いの主張が激しく、保育者や友だちの意見を取り入れられない面もあるが、遊びに友だちを誘ったりお手伝いをしたりする優しい姿もあるので、友だちとの関わりを楽しめるように関わり遊びを取り入れている。</li> <li>・ 友だちへの感情が芽生え、関わりが増える一方で、言葉で自分の気持ちを伝えるのが難しく、トラブルになることがあるので、その都度子どもの気持ちを受け止め寄り添いながら保育者が気持ちを言葉にしてお互いの思いを伝えている。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の思いに気づき、自分と相手の気持ちに対し折り合いをつけて関わろうとする。</li> <li>・ 自分の思いを言葉で伝えたり、友だちの思いを聞いたりできるようになる。</li> <li>・ 個人差が大きい時期でもあるので一人一人に寄り添い丁寧に接していく。</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手に思いを受け入れてもらえた時、または協力できた時にお互いにどのように感じたのかをクラス全体で子ども同士が話し合う機会を作る。</li> <li>・ 個の気持ちも大切にしながら相手にも気持ちがあることを伝えていく。どのような言葉で伝えたらいいのか保育者も一緒に考え、伝えられるようにする。</li> <li>・ 友だち同士で協力しながら遊ぶ機会を増やしていき、同じ遊びを通じて友だちとの関わりを深め、自分の気持ちも伝えながら友だちの気持ちも聞けるようにしていき、気持ちがすれちがった時にはどうすればいいのかを子どもたちと一緒に考えていく。</li> <li>・ 保育者がお互いの気持ちを代弁したり、簡単な言葉にして自分で思いを伝えたりできるように関わるとともに、お互いに関わることを楽しむ喜びを共感しながら伝えていく。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の遊びの中や片付けの時など、みんなで協力できたときには「うれしいね」であったり、協力できていない姿を見つけた時には「悲しい気持ちになるね」と話し合いの中で伝える姿があり、少しずつ友だちと協力しようとする姿や「一緒にやろう」と声をかけあう姿が増えてきている。</li> <li>・ トラブルになった時には自分たちで話をし、解決しようとする姿が見られるが、思いが伝わらず解決できない時がある。保育教諭が仲立ちとなり、お互いの思いを伝えあっていく中で、子ども自身が「〇〇したのが嫌だったよ」と気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりして悪かったと感じた時には謝る事ができている。</li> <li>・ 素直に「ありがとう」や「ごめんね」が言えないこともあるが、少しずつ自分の気持ちを言葉に出せるようになってきている子がいる。また楽しいと思ったことや面白いと感じたことを共有し、友だち同士の関わりを楽しんでいる姿も見られる。</li> <li>・ 月齢が上がるにつれて言葉の数も増え、保育教諭が仲立ちとなって自分の気持ちを伝える事により、トラブルが減った。また、遊びの中で子どもたちの気持ちを受け止め共感し、保育教諭も言葉で伝える経験を増やしていくことにより、子ども達も手が減ることが減り、落ち着いてきている。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全天候型の園庭や周囲の豊かな自然環境を生かして、伸び伸びと保育の実践をされている。また、ケンカやトラブルも含めた子どもたち同士の関わり合いの中で、お互いの気持ちを理解したり、言葉による思いの伝え方を学んだり、社会性を育む姿勢を大切にしている保育がなされている。</li> <li>・ 今後も、一人ひとりの発達の違いを視野に入れつつ、より質の高い保育を進めていきたい。</li> </ul>